

【3面から続く】

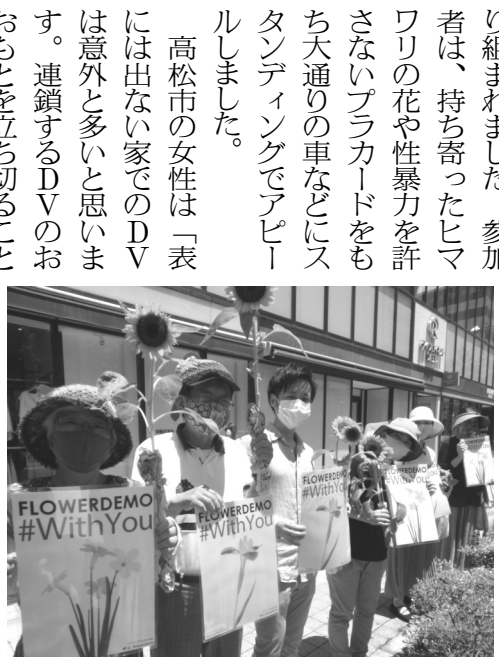
県民よの判断されるもの」と回答。公務活動費の見直しについては「議会で適切に判断されるもの」と答えるにとどまりました。

濱田知事は「弁護士と相談し控訴した。今後司法に」と答えました。

判例の確定を求めたのに対し「社会慣習として議員が参加費を払わず会合に参加するのは困難」「支払った金額は社会通念上適正な範囲内」と支出は違法でない

### フラワーデモ 性暴力を許さないスタンディング

性暴力を許さないフラワーデモが11日、高松市で取り組まれました。参加者は、持ち寄ったヒマワリの花や性暴力を許さないプラカードをもち大通りの車などにスタンディングでアピールしました。



高松市の女性は「表には出ない家でのDVは意外と多いと思います。連鎖するDVのおもむきを立ち切ることを

### 高松東バイパス沿いの遺跡 45

#### 林地区① 縄文時代の林

末光 甲正

氷河時代が去った今から一万二〜三千年前、まわりの動植物の様子が変わるなか、土を焼いて土器をつくり食料を煮炊きして食べる縄文時代の生活に移ります。その頃、木太地区の大池あたりに新しいタイプの投槍Ⅱ有舌尖頭器を使う人たちが現われたのは既述の通り。

これまでの調査では、林地区で人の姿を見かけるようになるのはもっとうずと後のこと。それはいつ頃、という話の前に、隣の伏石の縄文時代を覗くと...

バイパスの、林との境界線から西へ一五〇メートルで、田圃の表面から七〇センチの深さに六千三百年前の幅約一五センチの浅い谷川が流れていたことが分かったのです。六千三百年(現在は七千三百年説が有力)と分かるのは、その川の中で火山灰の堆積が見つかってからで、その火山灰は約一〇センチの

厚さで川底に溜まっていた。灰色がかった粘土のように見えますが指先で潰してみると粘つくのでなくザラザラひっかかる感じ。

実はこの火山灰は火山のガラス質の溶岩が細かい風船玉のようになり噴出して破裂したもので、非常に薄いガラス破片の集まり。そして一つ一つの火山ごとにガラスの性質と割れ方が違い、顕微鏡で見るといつ頃のどこかの火山の噴火のものか分かりません。ここ伏石の火山灰は屋久島の北、鹿児島から南百キロの鬼界ヶ島の六千三百年前の大噴火の産物。

鬼界ヶ島の火山灰は九州では赤い色で出てくるのでアカホヤとも呼ばれますが、香川ではここ伏石の井手東(いでひがし)遺跡で初めて発見されました。

アカホヤは縄文時代の遺跡の年代を判定するキマ手とされており、貴重な発見になりました。この火山灰の上層にある遺跡は六千三百年以後、火山灰の下の遺跡はそれ以前と判断できます。林地区では、まだこの火山灰層の下の遺跡は見つかっていません。従って林地区の縄文遺跡は古くても六千三百年以後というわけ、今のところ林の縄文時代遺跡は、バイパス関連調査で分かった三箇所。いずれも弥生時代や古墳時代までに埋まった川の跡です。

西から見ると、さき長地、もとの高原春夫さん宅から中川照夫さん宅の東のビニール・ハウスがあったあたりに、幅約三〇センチ、深さ三センチの縄文時代の凹地、畦の跡が残り水田だった様子です。さらに木太南小学校から南下した道路が交差する信号のすぐ東で、鋤の形の木製品やおびたしい縄文土器が出た



鬼界ヶ島噴火の火山ガラス破片 (資料・鳥居厚志)

## 白川氏 四国キャラバン 青年とリレートーク

民主香川 定価 月 100円 発行所 民主香川社 高松市藤塚町3丁目13-14 ☎(087)834-7311

四国キャラバン中の日本共産党の白川よう子衆院四国ブロック比例候補は18日、高松市の商店街で青年後援会のメンバーとともにリレートークしました。

「ジェンダー平等社会を目指す白川さんを応援しています」と切り出した市内の女性(41)は「女性、男性らしさが繰り返される生きづらさはまだあります。男性も『男らしく』などの押し付けで悩んでいませんか。ジェンダー平等社会の願いを白川さんに託したい」と述べ、保育士の男性(32)は、資格を持っていてる人の約三分の一しか保育士についていないことの原因に賃金の低さを指摘。イスラシアシアの配備に一兆円を超えるこれだけあれば保育士の賃上げができるし保育環境もよくなると、共産党に期待を込めました。



民青同盟香川県委員会

## 野党の共闘で政権交代を 太田ふれあい革新懇

日本共産党の白川よう子衆院四国ブロック比例候補、立憲民主党連の竹本敏信県議、新社会党県本部の長野新一副委員長が会場で、立憲民主党の小川淳也衆院議員、みどり・香川の渡辺智子代表、民主党県連の成合義範副幹事長が、ビデオ発言し「野党共闘で政権を

変える状況を紹介。そのうえで「学生5人に1人は退学するまで悩んでいる。夜学出身者として、金銭的な理由で進学をあきらめることがあつてはならない」と強調。野党共闘共同の政権で学生支援法を成立させていこうと力を込めました。



白川氏は、「国会延長にも臨時国会にも耳を貸さない」

### 異台教太

突然襲う黒い濁流。家々を押し流しながら下っていく映像に言葉が失った人は多いのではないだろうか。熱海市の伊豆山地域で起きた土石流は自然災害のすさまじさを再認識させました。相模湾に迫る急傾斜地に建てられた住宅地。昔は交通の難所。そこで開発が進みました。箱根火山も近く、火山灰により崩れやすい地質だったことも一因になったでしょう。しかし自然の谷を埋めた産廃の不法投棄が引き金を引いたとすると... 土石流災害の起きた翌日・4日は、くしくも67人が犠牲になった熊本豪雨から1年。さらに2年前の18年には岡山や広島はじめ西日本各地と愛媛県などで大雨被害が相次ぎました。「つゆ」といわれる時期に大雨による土砂災害が多発し、犠牲者が出ています。山の管理が行き届かなくなつたうえ自然を荒らす乱開発も一因にあるのではないのでしょうか。香川を見れば熱海や神戸のように山と海が迫る地域は少ない。しかし8日には大雨により西讃を中心に一部の地域が浸水。04年の高潮被害も記憶に新しい。産業廃棄物の不法投棄はどのようでしょうか。今一度、住んでいる地域を再確認すべきかもしれません。地震災害も過去に学んできました。水害も過去に学ぶべきです。公的支援制度の充実はもちろんですが、私たちも「早期注意情報」から「緊急安全確保」までの意味の重さを、そして「大丈夫だろう」ではなく「最悪の事態」を想い行動する心がけを、もうすぐ台風季節です。